

美ヶ原ロングトレイル 三峰山ーニツ山

(報告) YA

◎山行期日：2025年10月28日(火)

◎メンバー：KY YA

朝6時、車の温度計器は0℃を示していた。空は明るくなっていた。三峰茶屋の駐車場を後にし、道路を横切って笹原の中に付けられたトレースを三峰山に向かって辿り始めた。

夏が長くなり、今年も「暑さ寒さも彼岸まで」は死語になったかのように、10月になっても暑い日が続いた。それが突然、昨日辺りから冬型気圧配置となり風は冷たかった。左を向けば富士山や八ガ岳連峰が目に入る。その左後方の空に広がる雲が金色に輝いてくる。空の色も変わってくる。太陽が顔を出すのが近い。この夜明けの時間、世界は美しさに包まれる。泣きたくなるほどの美しさである。

6時10分、太陽の光が輝く。日の出である。スマホで撮影し、再び歩き始める。三峰山のピークはすぐ先だった。その時、突然ガスが湧き周囲が白くなった。三峰山に達した時、前方にブロクソンの妖怪さんが現れた。しかも二重に。スマホを取り出そうとしているうちにガスは消え、妖怪さんも去ってしまった。残念、写し損ねた。

三峰山の先はかなりの急斜面だった。ちょっとビビる。笹原の斜面の中に、靴の幅ほどしかない狭いトレースがジグザグに付けられていた。標高差200~300m程を下りきったが、その後も狭く歩き難い不安なトレースが下っていた。どこまで下るのだろう。

やがてやや平坦な場所に出た。その後は、水平に近い道が山腹に長く延びていた。セッセッセと足を進めた。かなり進んだ後、ニツ山への上りが始まった。初めのうちは直登で厳しかったが、しばらく上がるとジグザグ道になった。傾斜は多少緩くなったが、このトレースも狭かった。途中で立ち止まり、ここまで来た方角を振り返った。三峰山は遠く感じた。あそこから来たんだ。上り切ると、鉢伏山に向かうコースがその先に延び、そこから左側に分かれニツ山へ向かうコースとの分岐に着いた。『繋がった』と思った。8月に鉢伏山からニツ山までピストンしていたのである。鉢伏山からニツ山の間は笹原の中にルートが長く続いていたが、

難しい箇所はなくトレイルランナーも辿っていた。しかし、三峰山からここまでのルートは様相が違っていた。トレイルランナーも走れないだろう。分岐からニツ山へは200m程。笹原が拡がり展望が良い。富士山や八ガ岳連峰が美しい。ニツ山の山頂は、ピークというより草原の一角という所である。周囲は笹原の山肌がどこまでも広がっていた。



少し休み往路を引き返す。分岐からしばらくの間は急な下りである。年齢の所為だろうか、特に下りは転倒しやすくなっている。後ろから歩くKYさんがいつも心配する。下り切った平らな所で昼食。静かな山の中である。

昼食後、先ほど辿ったトレースを三峰山に向かって戻る。水平に近いと思っていたが、逆から辿ると緩やかではあるが上りばかりだった。一旦平らに出たが、その後はかなりの急勾配の上りになった。この辺りで息が上がりつつあった。ペースは落ちたが、周囲の木々の紅葉を眺めながら足を前に進めた。

目の前に三峰山を仰ぐ所まで進んだ。朝方、かなり下ったことを思い出すと気持ちが萎えた。ジグザグの狭いトレースをゆっくりと高みに向けて足を運んだ。やがて稜線、すぐ先が山頂である。登山者等が十数人いた。『ここまでは駐車場から楽に来られる。こんなにイイトコは誰もが来たいよな』と思った。あらためて周囲を見渡す。浅間山、八ヶ岳連峰、富士山、諏訪湖、そして南アルプス、快晴の下、嬉しくなるほどの展望が広がっていた。

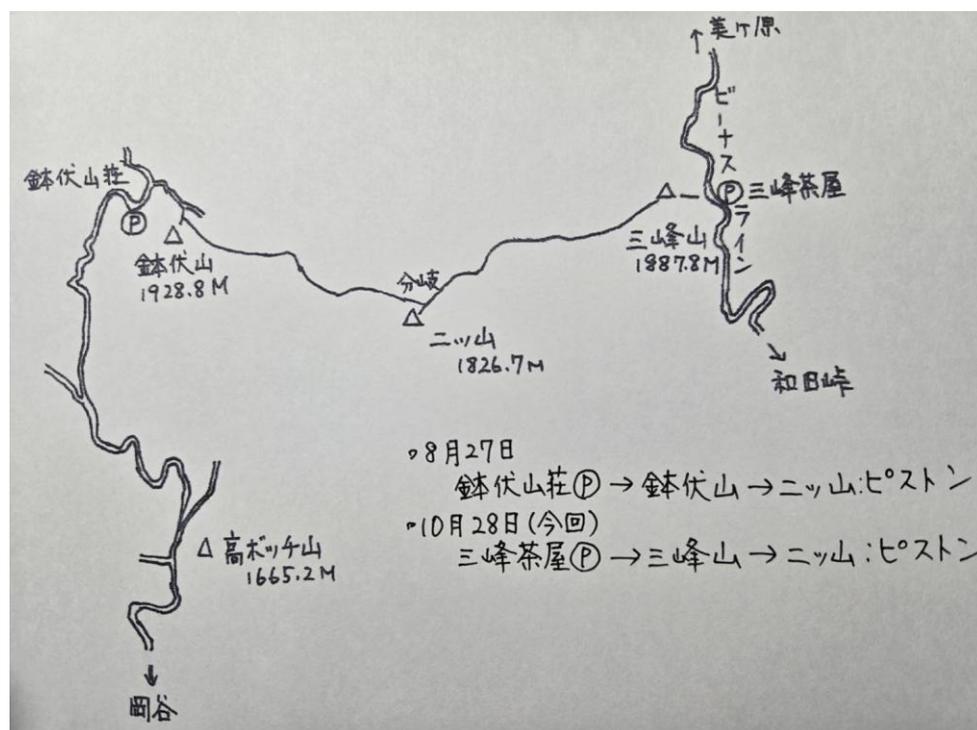


ニツ山山頂

追記：三峰山へ上り始めた時、「中央分水嶺トレイル」という標識があったので、この鉢伏山から三峰山のコースもその一部だと思っていた。家に帰ってから調べてみたところ、「中央分水嶺トレイル」は別のルートだった。そのルート上に三峰山のみが含まれている標識だった。そして、この鉢伏山ー三峰山のルートは「美ヶ原ロングトレイル」という名称だった。起点と終点は北側が金山町の四賀地区、南側が牛伏寺の45 kmのトレイルとのこと。この鉢伏山ーニツ山ー三峰山は11 km程である。美ヶ原もその名のとおりに美しく展望の素晴らしい所である。

記録

6:00 三峰茶屋駐車場発→
 6:25 三峰山→9:05 ニツ山分岐→9:12 ニツ山山頂→ニツ山分岐→9:55～10:15 下りきった平らで昼食→12:12 三峰山→12:55→駐車場



行程詳図